



事業整理シート

事業名	発達障害児等支援事業	整理番号	4102-010			
所管	教育部 学校教育課	予算款項目	一般会計	10	1	3

●事業の種類と位置付け

事業期間	2007年度 (平成19年度)	～		根拠法令・要綱等	発達障害者支援法
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-2	施策名:	人間力と社会力を核とした教育の充実	
	関連施策:	2-1-5	施策名:	発達障害児(者)の支援体制の充実	
個別計画での位置付け	第二期御殿場市教育振興基本計画、第6次御殿場市障害者計画、第二期御殿場市子ども・子育て支援事業計画				
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
	目標16	平和と公正をすべての人に			
国土強靱化計画における位置付け	h-2	復興を支える人材(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足			

●事業の内容

目的	通常の学級に在籍する発達障害あるいはその傾向のある児童・生徒の学習等を計画的に支援するため、支援員を配置し、特別支援教育の充実を図る。
対象	小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害やその傾向のある児童・生徒
手段	通常の学級に在籍する発達障害やその傾向のある児童・生徒は、ほぼすべての学校で配置基準とする10人以上に達しているため、各校へ支援員を配置し、個別の支援を行う。
令和4年度末までの事業実施状況	各校に配置した支援員が、状況に応じて児童・生徒に寄り添い、個別支援することで、適正な発達を促すとともに、その学級の他の児童・生徒への授業も落ち着いて行うことができるよう支援している。
事業の背景・住民意見の反映	御殿場市では、発達障害やその傾向のある児童・生徒が、毎年度の調査で約1割程度在籍している状況が続いており、ケースによっては、担任が発達障害のある児童・生徒にかかりきりになることもある。支援員が配置されることで、安定した学習活動を展開することができる。
事業の評価と改善 (R4→R5)	通常の学級に在籍する発達障害あるいはその傾向のある児童・生徒の割合は、全国平均と比較しても低い状況であるため、支援員を5人増員し、当該児童・生徒に対するよりいっそうの支援の充実を図っている。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		小・中学校に支援員22人を配置し、通常の学級に在籍する発達障害あるいはその傾向のある児童・生徒を支援する。	小・中学校に支援員24人を配置し、通常の学級に在籍する発達障害あるいはその傾向のある児童・生徒を支援する。	小・中学校に支援員26人を配置し、通常の学級に在籍する発達障害あるいはその傾向のある児童・生徒を支援する。	/
	事業費	59,700	65,100	70,500	195,300
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	59,700	65,100	70,500	195,300	

事業整理シート

事業名	外国人英語指導者配置事業	整理番号	4102-030			
所管	教育部 学校教育課	予算款項目	一般会計	10	1	3

●事業の種類と位置付け

事業期間	1992年度(平成4年度)	～			根拠法令・要綱等	学習指導要領
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-2	施策名:	人間力と社会力を核とした教育の充実		
	関連施策:	4-6-3	施策名:	国際化に対応できる人材の育成		
個別計画での位置付け	第二期御殿場市教育振興基本計画					
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに				
	目標16	平和と公正をすべての人に				
国土強靱化計画における位置付け	h-2	復興を支える人材(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足				

●事業の内容

目的	ネイティブ・スピーカーとの交流を通して、正しい英語の発音や異なる文化等を体験的に理解するため、外国人英語指導者(ALT)との外国語(英語)活動を行うことにより、コミュニケーション能力及び英語能力の向上を図るとともに、異文化理解を深める。
対象	小・中学校の児童・生徒
手段	小・中学校へ外国人英語指導者(ALT)を配置し、教員と連携して、小学校3・4年生は年間35時間程度、5・6年生は年間70時間程度、中学校は年間140時間程度、外国語活動(英語)の授業を行う。併せて、学校生活全般において、ALTが児童・生徒と関わることができる環境づくりを行う。
令和4年度末までの事業実施状況	小学生:外国人から英語を学ぶことで、英語の音声やリズムに慣れ親しむとともに、コミュニケーションを図る楽しさや外国の文化を直接体験している。中学生:ネイティブな英語に接することで、英語を話す力や聞く力の向上を図り、異文化理解を深めている。
事業の背景・住民意見の反映	指導体制強化のため、順次、配置するALTの増員を図ってきた。平成30年度から小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語が実施されるようになり、令和元年度に9人から10人に増員、新学習指導要領の全面实施となった令和2年度に12人に増員している。
事業の評価と改善(R4→R5)	引き続き12人のALTを配置し、小・中学校の外国語、英語の授業の充実を図るとともに、教員の研修会や学校行事への参加、英語検定の面接練習などにも連携して取り組んでいる。


●事業計画(単位:千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		外国人英語指導者12人を配置し、教員と連携して小・中学校での外国語活動や英語の授業、研修等を実施する。	外国人英語指導者12人を配置し、教員と連携して小・中学校での外国語活動や英語の授業、研修等を実施する。	外国人英語指導者12人を配置し、教員と連携して小・中学校での外国語活動や英語の授業、研修等を実施する。	/
	事業費	56,800	56,800	56,800	170,400
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	32,335	32,335	32,335	97,005
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他				0	
一般	24,465	24,465	24,465	73,395	

事業整理シート

事業名	ICT支援員配置事業	整理番号	4102-040		
所管	教育部 教育総務課	予算款項目	一般会計	10	2
				10	3
					2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～			根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-2		施策名:	人間力と社会力を核とした教育の充実
	関連施策:			施策名:	
個別計画での位置付け	第2期御殿場市教育振興基本計画、第2期御殿場市教育情報化推進基本計画				
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
国土強靱化計画における位置付け	h-2	復興を支える人材(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足			

●事業の内容

目的	GIGAスクール構想による小中学校1人1台端末の整備に伴い、端末に関するサポートや授業における効果的活用を支援するため、支援員を配置し、ICT教育の充実を図る。
対象	市内全小中学校
手段	授業におけるICTの活用方法、機器やソフトなどの設定・操作・不具合への対応等について、支援員を配置し、教員の支援を行う。
令和4年度末までの事業実施状況	令和2年度末に1人1台端末の整備が完了し、令和3年度から授業等で本格的な活用が始まった。それに伴い、令和4年度から支援員の配置を開始し、教員のICTスキルの上昇や負担軽減につながった。
事業の背景・住民意見の反映	教育の現場において、機器に不具合等が生じた際にすぐに対応可能な体制が必要である。効果的な活用の支援が得られることで、児童生徒の安定した学習機会を確保し、教員の業務改善を図ることができる。また、ICT環境は日々めまぐるしく変化するため、今後さらに需要が増えることが見込まれる。
事業の評価と改善 (R4→R5)	令和4年6月から支援員の配置を開始し、教員のICTスキルの上昇や負担軽減につながった。今後は、学校現場と調整しながら、時勢に合った支援内容を検討し、更なる個別最適な学び・協働的な学び、教員の負担軽減等につなげていく必要があるため、増員を図った。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		ICT機器に関するサポートや効果的な学習への活用等を支援するため、学校に支援員を配置する。	ICT機器に関するサポートや効果的な学習への活用等を支援するため、学校に支援員を配置する。	ICT機器に関するサポートや効果的な学習への活用等を支援するため、学校に支援員を配置する。	/
	事業費	25,000	25,000	25,000	75,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財線	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	25,000	25,000	25,000	75,000	

事業整理シート

事業名	教育支援センター事業	整理番号	4102-060			
所管	教育部 学校教育課	予算款項目	一般会計	10	1	3

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～			根拠法令・要綱等 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-2	施策名:	人間力と社会力を核とした教育の充実	
	関連施策:	4-1-4	施策名:	開かれた学校・魅力ある学校づくりの推進	
個別計画での位置付け	第二期御殿場市教育振興基本計画				
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
	目標16	平和と公正をすべての人に			
国土強靱化計画における位置付け	h-2	復興を支える人材(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足			

●事業の内容

目的	増加傾向にある不登校児童生徒に対応するため、学校や家庭以外で過ごすことのできる居場所を提供し、学校復帰や社会的自立に向けた適応指導、保護者の相談支援等を実施する。
対象	様々な要因で学校に登校できない小・中学校の児童・生徒とその保護者
手段	教育支援センターを設置し、自主学習や集団活動、スポーツ等を通して、個に応じた学習支援活動を進めながら、児童生徒の心の安定を図り、学校復帰や社会的自立のための適応指導を行う。また、保護者に対しては、子どもの理解や対応等に関する教育相談を行う。
令和4年度末までの事業実施状況	令和2年度までは市立図書館、令和3年度からは富士山市民のサロン「けやきかん」の相談室を利用した適応指導教室として、相談員が不登校児童生徒の指導・相談に対応している。
事業の背景・住民意見の反映	現在の適応指導教室はスペースに限りがあり、一度に複数の児童生徒の対応が難しく、また、座学的な学習に限られるため、指導内容にも限界が生じている。 そこで、適応指導教室の拡充を図るため、令和4年度をもって閉園となった原里西幼稚園を利活用し、教育支援センターを新たに設置する。
事業の評価と改善 (R4→R5)	富士山市民のサロン「けやきかん」の相談室を利用した適応指導教室を引き続き実施している。また、令和6年度からの教育支援センターの開所を目指し、令和5年度においては、施設改修や備品の整備を行う。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		教育支援センターに支援員等を配置し、不登校児童生徒の適応指導や保護者の相談支援を実施する。(人件費、施設管理費等)	教育支援センターに支援員等を配置し、不登校児童生徒の適応指導や保護者の相談支援を実施する。(人件費、施設管理費等)	教育支援センターに支援員等を配置し、不登校児童生徒の適応指導や保護者の相談支援を実施する。(人件費、施設管理費等)	/
	事業費	22,000	20,000	20,000	62,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	838	481	481	1,800
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	21,162	19,519	19,519	60,200	

事業整理シート

事業名	西中学校校舎改築事業	整理番号	4106-010			
所管	教育部 教育施設課	予算款項目	一般会計	10	3	3

●事業の種類と位置付け

事業期間	2016年度 (平成28年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等	義務教育諸学校施設費国庫負担法
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-6	施策名:	学校などの教育施設・設備の充実	
	関連施策:	7-5-3	施策名:	効果的な資産の活用	
個別計画での位置付け	教育委員会所管施設整備計画				
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
	国土強靱化計画における位置付け				

●事業の内容

目的	老朽化した校舎、屋内運動場の改築を行い、生徒の安全性の確保とより良い環境環境を図る。
対象	西中学校生徒・教職員
手段	校舎、屋内運動場改築とグラウンド整備等を実施する。 管理・普通教室棟 RC造3F 約4,330㎡ 屋内運動場 RC造一部S造2F 約2,285㎡ 屋外整備 グラウンド・外構整備 約31,000㎡
令和4年度末までの事業実施状況	機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。 校舎改築設計(H28～30)、校舎改築工事(H30～R1)、屋内運動場改築設計(R2～3)、屋内運動場改築工事(R3～4)、外構設計(R4)
事業の背景・住民意見の反映	校舎の老朽化により、機能面、安全面、衛生面において支障をきたしている。これまでの増改築により動線が長く、使い勝手の悪い配置になっており、全体配置を総合的に見直す必要があり、学校関係者や地域住民など施設利用者からも早期の整備を望まれている。
事業の評価と改善 (R4→R5)	学校関係者や地域住民などの要望に対し、配置計画やグラウンド計画を総合的に精査していくことで、より充実した施設整備を推進することができている。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		・屋外整備 外構整備工事 体育器具庫設計	・屋外整備 体育器具庫工事 工事監理		/
	事業費	447,500	99,900		547,400
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	32,700	6,000		38,700
	財線	402,744	89,868	0	492,612
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他				0	
一般	12,056	4,032	0	16,088	

事業整理シート

事業名	小学校環境整備事業	整理番号	4106-020			
所管	教育部 教育施設課	予算款項目	一般会計	10	2	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2012年度 (平成24年度)	～		根拠法令・要綱等	義務教育諸学校施設費国庫負担法
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-6	施策名:	学校などの教育施設・設備の充実	
	関連施策:	7-5-3	施策名:	効果的な資産の活用	
個別計画での位置付け	教育委員会所管施設整備計画				
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
					
国土強靱化計画における位置付け					

●事業の内容

目的	小学校施設の不具合の改善を行い、児童の安全性の確保及びより良い教育環境を図る。
対象	小学校児童・教職員
手段	校舎(教室等)・屋内運動場の増改築・改修、グラウンド整備等を実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。 神山小校舎改修(H28～29)、玉穂小駐車場整備(H30～R1)、朝日小校舎改修(R1～2)
事業の背景・住民意見の反映	教育施設の老朽化により、機能面、安全面及び衛生面において支障をきたしており、児童教職員の安全性の確保や教育環境の改善が図られる教育施設の整備が望まれる。
事業の評価と改善(R4→R5)	計画的・効率的な施設整備を実施していく中で、老朽箇所や機能面での不具合等を精査し、必要な改修内容の計画を推進することができている。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容				・高根小 特別教室空調設置設計	
	事業費			4,000	4,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債			1,500	1,500
	財繰	0	0	2,000	2,000
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	0	0	500	500	

事業整理シート

事業名	中学校環境整備事業	整理番号	4106-030			
所管	教育部 教育施設課	予算款項目	一般会計	10	3	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2012年度 (平成24年度)	～			根拠法令・要綱等	義務教育諸学校施設費国庫負担法	
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-6	施策名:	学校などの教育施設・設備の充実			
	関連施策:	7-5-3	施策名:	効果的な資産の活用			
個別計画での位置付け	教育委員会所管施設整備計画						
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに					
	国土強靱化計画における位置付け						

●事業の内容

目的	中学校施設の不具合の改善を行い、生徒の安全性の確保及びより良い教育環境を図る。
対象	中学校生徒・教職員
手段	校舎(教室等)・屋内運動場の増改築・改修、グラウンド整備等を実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。 原里中テニスコート整備(H30～R1)、富士岡中便所改修(H30～R1)、南中校舎改修(R1～2)
事業の背景・住民意見の反映	教育施設の老朽化により、機能面、安全面及び衛生面において支障をきたしており、生徒教職員の安全性の確保や教育環境の改善が図られる教育施設の整備が望まれる。
事業の評価と改善(R4→R5)	計画的・効率的な施設整備を実施していく中で、老朽箇所や機能面での不具合等を精査し、必要な改修内容の計画を推進することができている。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	・御殿場中学校 校舎改築改修設計		・御殿場中学校 校舎改築改修設計	・御殿場中学校 既存校舎解体 校舎改築工事、工事監理	/
	・原里中学校 校舎改築改修設計				
	・富士岡中学校 暫定校舎借上		・富士岡中学校 暫定校舎撤去	・原里中学校 既存校舎解体 校舎改築工事、工事監理	
事業費		55,800	141,700	349,900	547,400
財 源 内 訳	国補			39,548	39,548
	防衛				0
	県補				0
	市債	21,300	49,800	143,800	214,900
	財繰	18,480	43,120	110,101	171,701
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他				0	
一般		16,020	48,780	56,451	121,251

事業整理シート

事業名	教育ICT環境整備事業	整理番号	4106-040		
所管	教育部 教育総務課	予算款項目	一般会計	10	2
				10	3
					2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2020年度 (令和2年度)	～			根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-6	施策名:	学校などの教育施設・設備の充実	
	関連施策:		施策名:		
個別計画での位置付け	第2期御殿場市教育振興基本計画、第2期御殿場市教育情報化推進基本計画				
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
国土強靱化計画における位置付け					

●事業の内容

目的	学校におけるICT環境について、現状の水準を維持しつつ新たに効果的な整備を進めることで、児童生徒1人1人が個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現することを目的とする。
対象	市内全小中学校
手段	既存のICT機器(1人1台端末、校務用PC、大型提示装置、等)の整備水準が低下しないよう、維持・更新を行っていくとともに、必要とされるソフトウェアやデジタル教材等の導入を進めていく。
令和4年度末までの事業実施状況	令和2年度末に1人1台端末の整備が完了し、令和3年度から授業等で本格的な活用が始まった。大型提示装置やデジタル教材を併用することで、個別最適な学び・協働的な学びにつながった。また、校務用PCにより教職員の校務事務の負担軽減につながっている。
事業の背景・住民意見の反映	国はこれまで、GIGAスクール構想による令和5年度までの1人1台端末を進めてきた。しかし、新型コロナウイルスの影響により、緊急時でも、子供たちの学びを保証できる環境を早急実現する必要が生じ、前倒し整備のための補正予算により、端末等の整備を加速させることとなった。当該影響により、本市においても学校におけるICT環境の整備が加速度的に実現している。
事業の評価と改善(R4→R5)	令和4年度はデジタル教科書を導入し、教育の質の向上に寄与した。今後も、ICT機器を活用し、個別最適な学び・協働的な学び及び教職員の負担軽減等を推進していくとともに、次回の端末及び校務用PC更新に向けて各種調整(情報収集、財源確保等)が必要となる。

●事業計画 (単位：千円)



		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		・小中学校のICT機器の維持(校務PC、大型提示装置) ・教育用タブレット端末等の運用・保守等	・小中学校のICT機器の維持(校務PC、大型提示装置) ・教育用タブレット端末等の運用・保守等	・小中学校のICT機器の維持(校務PC、大型提示装置) ・教育用タブレット端末等の更新、運用・保守等	/
	事業費	347,900	347,900	540,400	1,236,200
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	84,034	84,034	157,910	325,978
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他	70,000	70,000	70,000	210,000
	一般	193,866	193,866	312,490	700,222

事業整理シート

事業名	学校給食センター施設改修事業	整理番号	4107-010			
所管	教育部 学校給食課	予算款項目	一般会計	10	6	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2015年度 (平成27年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-7	施策名:	学校給食の充実
	関連施策:	7-5-3	施策名:	効果的な資産の活用
個別計画での位置付け	長寿命化計画			
SDGsでの位置付け	目標2	飢餓をゼロに		
	目標11	住み続けられるまちづくりを		
国土強靱化計画における位置付け	e-5	食糧等の安定供給の停滞		

●事業の内容

目的	稼働後30年以上経過している西学校給食センターの大規模改修を行い、より安全安心な給食を提供するため整備を施工するもの。
対象	西学校給食センター管内の児童生徒
手段	令和3・4年度に基本・実施設計、令和4～7年度で改修工事を実施する。給食提供に影響を及ぼさないように、夏休み等長期休暇で対応する。
令和4年度末までの事業実施状況	老朽化が進んだ西学校給食センターを令和3年から令和7年にかけて大規模改修するため、令和3・4年度は基本・実施設計を委託し、令和4年度に第Ⅰ期工事としてボイラー改修工事を実施した。
事業の背景・住民意見の反映	施設・厨房設備の改修等による作業効率や安全性が向上し、安定的に学校給食を提供できることで学校給食への信頼を高めることに繋がる。
事業の評価と改善 (R4→R5)	令和4年度に基本・実施設計を策定及び第Ⅰ期工事であるボイラー改修工事を実施した。令和5年度は第Ⅱ期工事として、洗浄室工事を夏休みに実施する。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
	事業内容	改修工事(Ⅲ・Ⅳ期) 調理機器備品購入・搬入	改修工事(Ⅳ期) 調理機器備品購入・搬入		/
	事業費	276,500	154,000		430,500
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	164,600	93,800		258,400
	財線	89,775	47,135	0	136,910
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	22,125	13,065	0	35,190	

事業整理シート

事業名	学校給食費助成事業	整理番号	4107-020			
所管	教育部 学校給食課	予算款項目	一般会計	10	6	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2019年度 (令和1年度)	～			根拠法令・要綱等	学校給食法
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-7	施策名:	学校給食の充実		
	関連施策:	2-1-6	施策名:	少子化対策の推進		
個別計画での位置付け						
SDGsでの位置付け	目標2	飢餓をゼロに				
	目標3	すべての人に健康と福祉を				
国土強靱化計画における位置付け	e-5	食糧等の安定供給の停滞				

●事業の内容

目的	市内小中学校に在学する児童生徒の学校給食費を負担する保護者に対し、その経費の一部を助成することにより、保護者の負担軽減を図る。
対象	市内小中学校児童生徒
手段	令和元年10月より児童生徒分の学校給食費に1/4の助成を実施している。
令和4年度末までの事業実施状況	令和元年度 5,000万円、令和2年度 9,600万円、令和3年度 10,400万円、令和4年度 10,800万円の助成を行った。
事業の背景・住民意見の反映	学校給食費については、定期的に学校給食センター運営委員会で検討している。令和元年10月に給食費を改定し値上がりとなったが、子育て支援施策の一環として、保護者の負担軽減のために市費から1/4を助成する事になった。
事業の評価と改善 (R4→R5)	令和4年度は、物価高騰に伴い、地方創生臨時交付金を財源に賄材料費の補助を実施。助成事業と併せて子育て世帯の負担軽減につなげた。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	学校給食費助成事業		学校給食費助成事業	学校給食費助成事業	/
事業費		93,000	91,000	89,000	273,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般		93,000	91,000	89,000	273,000

事業整理シート

事業名	南学校給食センターPFI終了後整備事業	整理番号	4107-030			
所管	教育部 学校給食課	予算款項目	一般会計	10	6	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2026年度 (令和8年度)	根拠法令・要綱等	学校給食法
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-7	施策名:	学校給食の充実	
	関連施策:	7-5-3	施策名:	効果的な資産の活用	
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標2	飢餓をゼロに			
	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう			
国土強靱化計画における位置付け	e-5	食糧等の安定供給の停滞			

●事業の内容

目的	南学校給食センターは平成22年9月にPFI手法での運用を開始し、令和7年度に15年間の契約期間が終了する。終了後の南学校給食センターの管理運営手法について検討し、令和8年度からの事業実施につなげる。
対象	南学校給食センター管内の児童生徒
手段	令和7年度に契約が完了する南学校給食センターの管理運営業務及び令和5年度から3年間の委託になった調理業務等も含めた新しい手法を検討しつつ、業者の選定等も行い、令和8年度から新たな管理運営等業務委託を実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	包括的委託を見据え、直営だった調理部門を委託する業者をプロポーザル方式で選定した。
事業の背景・住民意見の反映	施設・厨房設備の専門業者による施設管理や調理専門業者による調理業務により、作業効率を向上させ、将来に渡り安定的に学校給食を提供する体制を構築する。
事業の評価と改善 (R4→R5)	令和5年度は、更新継続に係る事業手法調査を委託し、今後の方針を決定する。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		更新継続に係る事業者選定業務(実施方針・募集要項作成、選定委員会運営等)	更新継続に係る事業者選定業務(選定委員会運営、契約締結関係等)	PFI終了後の包括委託等に係る経費	/
事業費		10,000	3,000	280,000	293,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財線	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	10,000	3,000	280,000	293,000	

事業整理シート

事業名	南学校給食センター調理業務委託事業	整理番号	4107-040			
所管	教育部 学校給食課	予算款項目	一般会計	10	6	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等	学校給食法
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-7	施策名:	学校給食の充実	
	関連施策:	7-6-3	施策名:	民間活力の活用	
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標2	飢餓をゼロに			
	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう			
国土強靱化計画における位置付け	e-5	食糧等の安定供給の停滞			

●事業の内容

目的	民間活力を活用して調理業務を一部委託とすることで、慢性的な調理員不足を解消し、給食の安定供給を図る。
対象	南学校給食センター管内の児童生徒
手段	調理業務等の一部を民間事業者へ委託する。
令和4年度末までの事業実施状況	プロポーザル方式により、業者を選定した。
事業の背景・住民意見の反映	慢性的な調理員不足を解消し、安定的に学校給食を提供していくことが求められている。
事業の評価と改善 (R4→R5)	これまで以上に安全・安心でおいしい給食を提供するため、委託業者と連携を密にしながら4月より給食を提供している。


●事業計画 (単位: 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	調理業務委託		調理業務委託		/
	事業費	113,100	113,100		226,200
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財線	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	113,100	113,100	0	226,200	

事業整理シート

事業名	青少年のための科学の祭典事業	整理番号	4110-010			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2006年度 (平成18年度)	～		根拠法令・要綱等	文部科学省・厚生労働省の放課後対策関連事業
基本計画における位置付け	施策番号:	4-1-10		施策名:	青少年の健全育成
	関連施策:			施策名:	
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
					
国土強靱化計画における位置付け	h-2	復興を支える人材(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足			

●事業の内容

目的	実験・工作等の身近な科学体験を通して、科学の楽しさや面白さ、発見や感動を体験してもらい、青少年の科学に対する知的好奇心を高め、豊かな発想や創造性の育成を図る。
対象	青少年
手段	<ul style="list-style-type: none"> 学校や企業協力のもと、科学、技術、工学等をテーマにしたブースを設置し、幼児から大人まで一緒に楽しめる実験や工作を展開する。 実行委員会を組織し、交付金により事業を実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> R3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止。 R1年度の第10回大会は令和改元記念事業と位置付け、2月16日(日)に市民会館で開催した。 体験ブース26、来場者数は2,000人。JAXA記念講演を同時開催した。
事業の背景・住民意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> 第1回は(財)日本科学技術振興財団、科学技術館の主催により実施した。H22年度第5回大会から隔年で実施し、また、H25年度第7回大会からは、1日での開催としている。 毎回市内外から多くの来場者を集め、参加者アンケートでは満足度が高く、事業継続を望む声が多い。
事業の評価と改善(R4→R5)	開催予定であったR3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止。来場者も多く、満足度の高い人気の事業のため、一般財源と協賛金等の限られた予算の中で、質を落とさずに継続実施をしていきたい。対象が若年層のため、新型コロナウイルス等感染症対策をとりながら行っていく。(隔年事業のためR4年度は実施無し)


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		第12回青少年のための科学の祭典富士山大会inごてんば		第13回青少年のための科学の祭典富士山大会inごてんば	/
	事業費	2,600		2,600	5,200
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山	30		30	60
	寄付	670		670	1,340
	その他				0
一般	1,900	0	1,900	3,800	

事業整理シート

事業名	図書館図書整備事業	整理番号	4204-020			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	3

●事業の種類と位置付け

事業期間	1971年度 (昭和46年度)	～			根拠法令・要綱等	図書館法、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準
基本計画における位置付け	施策番号:	4-2-4	施策名:	図書館機能の充実		
	関連施策:	4-2-1	施策名:	学習機会の提供、学習成果の発信		
個別計画での位置付け						
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに				
国土強靱化計画における位置付け						

●事業の内容

目的	市民の教養や調査研究及び文化活動に資するため、図書資料を整備する。
対象	市民及び周辺自治体住民
手段	図書資料を選定し、図書館利用に供する。内容は、一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等。
令和4年度末までの事業実施状況	令和4年度末蔵書総数281,583冊(内訳:一般図書192,281冊、児童図書64,630冊、郷土資料23,187冊、外国語図書1485冊)、視聴覚資料2,633点。
事業の背景・住民意見の反映	市民の多様な知識欲求(ニーズ)や学習意欲に応じた蔵書を提供したり、子どもを育む図書整備を図ったり、地域の歴史・文化資料の保存・継承を図るなど、現代的課題に対応した図書館整備が望まれている。また、リクエスト制度により、利用者の要望やニーズの応える図書整備を行っている。更に、利用者アンケートにより様々なニーズの具体的な把握に努めている。
事業の評価と改善(R4→R5)	図書整備については、ポピュラーで利用率の高いものは手厚く、また全体として幅広い分野をカバーできるよう配慮している。図書選定は、利用者の要望を考慮して複数の図書館員による検討を経て決定し公平性の確保に努めている。当館で所蔵していない本等は、県内公立図書館のネットワーク(相互貸借制度)を活用し、利用者ニーズに的確に応えると共に、貸出の効率化と費用削減に努めている。引き続き、広範囲で公平な図書整備に努める。



●事業計画 (単位:千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等の購入	一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等の購入	一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等の購入	/
事業費		10,000	10,000	10,000	30,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	4,750	4,750	4,750	14,250
	負担				0
	小山				0
	寄付	300	300	300	900
その他				0	
一般	4,950	4,950	4,950	14,850	

事業整理シート

事業名	図書館等整備事業	整理番号	4204-030			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	3

●事業の種類と位置付け

事業期間	2016年度 (平成28年度)	～	2026年度 (令和8年度)	根拠法令・要綱等	図書館法、図書館の設置及び運営上の望ましい基準、建築物の耐震改修の促進に関する法律
基本計画における位置付け	施策番号:	4-2-4	施策名:	図書館機能の充実	
	関連施策:	4-5-4	施策名:	郷土資料館の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市立図書館等整備基本構想、御殿場市立図書館等整備基本計画				
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け					

●事業の内容

目的	現在の図書館の老朽化と狭小化を解消するとともに、市が保管する民俗資料等の保存・活用を図るため、郷土資料館を複合化し、DX化した新たな図書館を整備する。新図書館等の将来像は、「郷土を知り、学びを育み、相互につながる 図書館」とする。
対象	市民
手段	令和2年度に策定した「御殿場市立図書館等整備基本構想」に基づいて基本計画を策定した後、基本設計及び実施設計を行い、建築工事、外構工事等を実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	平成28～30年度にかけて市内検討委員会で新図書館等の今後の目指す方向性や移転候補地等について検討。令和元・2年度には図書館等整備基本構想策定懇話会を設置し、「御殿場市立図書館等整備基本構想」を策定。令和4年11月には「御殿場市立図書館等整備基本計画」を策定。これに沿って基本設計、実施設計を進めている。
事業の背景・住民意見の反映	昭和56年開館の図書館は老朽化が著しく、蔵書の保管スペースも飽和状態となっている。また、民俗資料収蔵庫も同様であり、両施設を複合化した新館の整備が急務である。「御殿場市立図書館等整備基本構想」策定に当たっては市民アンケートとパブリックコメントを、「御殿場市立図書館等整備基本計画」策定に当たっては、市民ワークショップ、小学生ワークショップ、各団体からの意見徴収、パブリックコメント等を実施し、市民の意見を取り入れた。
事業の評価と改善 (R4→R5)	市民ワークショップ、小学生ワークショップ、各団体からの意見徴収、パブリックコメント等での市民の意見を取り入れ、基本計画を策定した。これに沿って基本設計を行い、年度を跨いで実施設計を行った。今後は、令和7年1月に着工を予定している本体建設工事に向け、計画的に事業を進めていく。また、最新のICT機器を活用して市民の利便性を図ることで、市が取り組むデジタル社会推進事業に寄与する。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		建設工事、付帯工事 屋外整備工事(外構) 郷土資料展示製作・設置業務 郷土コーナー設置業務 木材加工業務	建設工事、付帯工事 屋外整備工事(外構) 郷土資料展示製作・設置業務 郷土コーナー設置業務 図書館等情報システム整備業務 備品・図書購入 移転・開館準備	オープニングイベント 開館PR	/
	事業費	830,800	2,295,800	1,000	3,127,600
財 源 内 訳	国補		81,277		81,277
	防衛				0
	県補				0
	市債	450,900	999,200	0	1,450,100
	財繰	218,520	500,040	0	718,560
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他		300,700		300,700	
一般	161,380	414,583	1,000	576,963	

事業整理シート

事業名	移動図書館車更新事業	整理番号	4204-040			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	3

●事業の種類と位置付け

事業期間	1971年度 (昭和46年度)	～			根拠法令・要綱等	図書館法、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準	
基本計画における位置付け	施策番号:	4-2-4	施策名:	図書館機能の充実			
	関連施策:	4-2-1	施策名:	学習機会の提供、学習成果の発信			
個別計画での位置付け	第2次 御殿場市子ども読書活動推進計画						
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに					
国土強靱化計画における位置付け							

●事業の内容

目的	図書館サービスを市内全域で行うという観点から、本館を利用することが難しい遠隔地の高齢者や子ども、幼児を抱えた保護者などに図書館サービスを提供する。
対象	市民
手段	移動図書館車の車両更新。財源として一般財団法人 自治総合センターの「コミュニティ助成事業」の活用を予定している。
令和4年度末までの事業実施状況	現在の移動図書館車は5代目であり、平成23年12月から運行している。1日5つの拠点を、2週間をかけて(土日月は運休)40か所を巡回し、「ライオンズ号」の愛称で市民から親しまれている。令和4年度の実績は、来館者が11,455人、貸出冊数が23,757冊となっており、全体の貸出冊数の約4.6%を担っている。
事業の背景・住民意見の反映	御殿場市子ども読書活動推進計画に紐づけ、幼稚園、保育園、こども園、小学校を中心に巡回拠点を変更したことにより、来館者は増加している。市民からは「ライオンズ号」の愛称で親しまれており、子ども読書活動推進の一翼を担っている。
事業の評価と改善 (R4→R5)	5代目が運行開始をしてから11年以上が経過し、運休日後のエンジン始動不良等故障が目立ち始めている。拠点巡回のみではなく、他施設のイベント等に出張して事業の周知を図るとともに、読書活動の普及に大きく役立っている。


●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容				移動図書館車更新事業	/
	事業費			21,200	21,200
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債			8,400	8,400
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他			10,000	10,000
一般	0	0	2,800	2,800	

事業整理シート

事業名	東山旧岸邸屋根修繕事業	整理番号	4303-010			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	4

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等	文化財保護法
基本計画における位置付け	施策番号:	4-3-3		施策名:	芸術・文化活動基盤の確保
	関連施策:			施策名:	
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
国土強靱化計画における位置付け	h-3	貴重な文化財の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・喪失			

●事業の内容

目的	耐用年数を超過し、ひび割れ箇所が随所に散見される屋根材の葺き替え工事を実施することで、国登録有形文化財としての東山旧岸邸の外観を維持し、市民の文化及び教養のより一層の向上に資することを目的とする。
対象	東山旧岸邸
手段	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根修繕に係る現地調査を実施し、修繕の必要性を検討する。修繕が必要とされる場合には、東山旧岸邸の母屋の屋根葺き替え工事を実施する。 ・国の文化財補助金の活用も検討する。
令和4年度末までの事業実施状況	平成16年度に屋根葺き替え工事を実施。一般公開するにあたり、平成20年度に耐震補強・内部改装を実施。平成26年度には内部の大規模修繕を実施。令和3年10月には国登録有形文化財に登録された。
事業の背景・住民意見の反映	平成16年度の屋根葺き替え工事から約18年が経過しており、屋根材の耐用年数である10年を超過している。気象状況や経年劣化によると考えられる、屋根材のひび割れが発生している。
事業の評価と改善 (R4→R5)	指定管理者より事業報告を受けるほか、モニタリングを実施することで現状把握に努めるとともに、業務水準の改善・向上を図っている。 令和4年度には展示用家具の修繕を実施した。

●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	屋根修繕に係る現地調査 文化庁現状変更申請		屋根葺き替え工事		/
	事業費	0	11,990		11,990
財 源 内 訳	国補		3,355		3,355
	防衛				0
	県補		1,118		1,118
	市債				0
	財繰	0	3,757	0	3,757
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	0	3,760	0	3,760	

事業整理シート

事業名	市民会館大ホール舞台用電気設備改修事業	整理番号	4303-020			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	4

●事業の種類と位置付け

事業期間	2024年度 (令和6年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	4-3-3	施策名:	芸術・文化活動基盤の確保
	関連施策:		施策名:	
個別計画での位置付け				
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに		
	目標11	住み続けられるまちづくりを		
国土強靱化計画における位置付け	h-3	貴重な文化財の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・喪失		



●事業の内容

目的	大ホールの舞台用電気設備の根幹部分である主幹盤、調光器盤等について、平成9(1997)年の導入から25年以上が経過し、耐用年数の大幅超過による老朽化が進んでいる。交換部品の供給終了により修繕に支障をきたしていることから、改修を実施し大ホール舞台設備の長寿命化を図る。
対象	市民及び市民会館利用者
手段	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度に設計業者に委託し、舞台用電気設備改修のための設計、積算を行う。 ・設計、積算を元に、令和7年度に舞台用電気設備業者に発注し設備を改修する。
令和4年度末までの事業実施状況	指定管理者にて、舞台照明設備に関する毎年2回の保守点検を実施している。
事業の背景・住民意見の反映	調光器盤の作動状況を表示するモニターが経年劣化により表示不良となり、舞台の安全な運営に支障をきたしている。導入から25年以上が経過し、モニターをはじめ、調光器盤の交換部品の供給も終了していることから主幹盤・調光器盤等本体の更新が必要である。大ホール運用に必要な不可欠な設備であるため、早急な改修が必要である。
事業の評価と改善 (R4→R5)	指定管理者より保守点検報告を受けるほか、モニタリングを実施することで現状把握に努めるとともに、業務水準の改善・向上を図っている。



●事業計画 (単位: 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	舞台用調光器盤改修工事設計業務委託		舞台調光器盤改修工事		/
	事業費	15,000	350,000		365,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	9,000	315,000		324,000
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	6,000	35,000	0	41,000	

事業整理シート

事業名	市民会館整備事業	整理番号	4303-030			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	4

●事業の種類と位置付け

事業期間	2024年度 (令和6年度)	～			根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	4-3-3	施策名:	芸術・文化活動基盤の確保	
	関連施策:		施策名:		
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	h-3	貴重な文化財の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・喪失			

●事業の内容

目的	現在の市民会館の老朽化への対応及び芸術文化施設に関するニーズに対応していくために施設の整備方針の策定をする。
対象	市民及び市民会館利用者
手段	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度に施設状況(劣化状況、耐震性能、利用状況等)及び、利用者ニーズを把握し、芸術文化の動向や今後の在り方を検討。 令和7年度以降に具体的な再整備方針の策定。
令和4年度末までの事業実施状況	平成22年に会議棟改修工事により耐震補強済。平成28年に大小ホール天井耐震化、舞台装置・照明、スプリンクラー等修繕。令和4年に大小ホール棟消防設備修繕を実施。
事業の背景・住民意見の反映	現在の市民会館は昭和51年にホール棟、昭和52年に会議棟が建設され、会館として築47年以上経過しているため設備の老朽化が著しい。整備方針を策定するにあたっては、時代に即した芸術文化施設に対する市民ニーズに応えるため、ワークショップやパブリックコメントなどを実施する予定。
事業の評価と改善(R4→R5)	指定管理者より事業報告を受けるほか、モニタリングを実施することで現状把握に努めるとともに、危険箇所や修繕の必要な部分の確認を行っている。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		再整備方針策定(現況・施設調査、市民ニーズ調査等)	再整備方針策定(検討委員会の開催、再整備方針検討等)	基本構想策定	/
	事業費	21,000	49,000	7,000	77,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財線	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	21,000	49,000	7,000	77,000	

事業整理シート

事業名	陸上競技場施設改修事業	整理番号	4403-010			
所管	産業スポーツ部 スポーツ交流課	予算款項目	一般会計	2	10	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	～				根拠法令・要綱等			
基本計画における位置付け	施策番号:	4-4-3	施策名:	スポーツ関連施設の適切な整備と運営				
	関連施策:		施策名:					
個別計画での位置付け	御殿場市公共建築物個別計画							
SDGsでの位置付け	目標3	すべての人に健康と福祉を						
	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう						
国土強靱化計画における位置付け								

●事業の内容

目的	施設開設後、第2種公認競技場として5年毎に日本陸上競技連盟の検定を受け公認継続を行ってきたが、施設の老朽化・破損等が進んでいる。現在は第3種公認陸上競技場として安全に安心して使用できるよう必要な施設改修及び備品の更新を行う。
対象	市民、利用者
手段	日本陸上競技連盟の事前検査結果を基に、公認の更新のための施設改修及び備品の更新を行うとともに、建築物の定期検査結果及び公共施設長寿命化計画に基づき、改修及び補修を計画的に実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	施設開設当初から第2種公認競技場として公認を継続してきたが、利用団体との協議及び経済的かつ合理的な格付けの研究の結果、今後は第3種公認競技場として更新することとした。公認更新に向けての改善箇所に加え、利用者の安全安心な利用へつなげるための改善箇所の特定を行った。
事業の背景・住民意見の反映	利用者から施設の老朽化に対する改善、水銀灯生産停止による照明のLED化、トイレのバリアフリー化、駐車場不足の解消等、未整備箇所に対する意見が多く寄せられている。
事業の評価と改善 (R4→R5)	公認の種別及び競技の運営内容について利用団体と協議・調整し、経済的かつ合理的な観点から必要な箇所の改修及びルール改正等に伴う備品の更新を行った。



●事業計画（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
	事業内容		陸上競技場メインスタンド改修調査・設計 (公共建築物個別計画対象事業)	陸上競技場メインスタンド改修工事(公共建築物個別計画対象事業)	/
	事業費		12,000	80,000	92,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債		10,800	72,000	82,800
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	0	1,200	8,000	9,200	

事業整理シート

事業名	御殿場市体育館等施設改修事業	整理番号	4403-020			
所管	産業スポーツ部 スポーツ交流課	予算款項目	一般会計	2	10	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	～				根拠法令・要綱等			
基本計画における位置付け	施策番号:	4-4-3		施策名:	スポーツ関連施設の適切な整備と運営			
	関連施策:			施策名:				
個別計画での位置付け								
SDGsでの位置付け	目標3	すべての人に健康と福祉を						
	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう						
国土強靱化計画における位置付け								

●事業の内容

目的	安全で良好な施設の利用に供するため、計画的に改修事業を行い、競技環境の向上を図る。
対象	市民、利用者
手段	改修・修繕を計画的に順次実施していく。
令和4年度末までの事業実施状況	第1体育館は平成31年4月にリニューアルオープンし、「誰でも安全に楽しく運動できる施設」として安全性及び競技環境の向上が図られた。今後は、未整備の第2体育館の改修及び照明設備のLED化、第1体育館の快適性に関する空調設備の整備を検討している。
事業の背景・住民意見の反映	利用者から駐車場不足及び空調設備導入(空調配管のみ整備済み)の要望、第2体育館の老朽化、照明のLED化等未整備個所に対する意見が多く寄せられている。
事業の評価と改善(R4→R5)	国道整備事業に伴い減少した総合体育施設駐車場の機能回復のための整備が完了した。引き続き不足する駐車場及び施設の長寿命化、空調設備導入、全館照明のLED化に向けて優先順位と投資効果を検討し、効果のある対策を研究していく。



●事業計画 (単位: 千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容			体育館空調設備導入調査	体育館空調設備工事	/
	事業費		1,000	45,000	46,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債			33,700	33,700
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	0	1,000	11,300	12,300	

事業整理シート

事業名	東運動場施設改修事業	整理番号	4403-050			
所管	産業スポーツ部 スポーツ交流課	予算款項目	一般会計	2	10	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	～				根拠法令・要綱等			
基本計画における位置付け	施策番号:	4-4-3	施策名:	スポーツ関連施設の適切な整備と運営				
	関連施策:		施策名:					
個別計画での位置付け								
SDGsでの位置付け	目標3	すべての人に健康と福祉を						
	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう						
国土強靱化計画における位置付け								

●事業の内容

目的	東運動場は整備後50年以上経過し、設備の老朽化・損傷が激しく、改修・修繕が必要となっている箇所がある。グラウンドの規模拡大や地域の交流施設としての機能拡充の要望もあり、安全で良好な施設として利用に供するために計画的に施設改修事業を行っていく。
対象	市民(利用者、体育団体、深沢区民)
手段	フェンスの金網やブロック塀の腐食、設備等の老朽化もあるため、不具合を解消して競技環境の向上を図る。併せて地域の交流機能を兼ね備えた施設整備も検討する。
令和4年度末までの事業実施状況	安全安心なスポーツ施設であること及び地元深沢区民の憩いの場、交流の場であることを念頭に、施設の整備のありかたについて研究を行った。
事業の背景・住民意見の反映	老朽化対応の要望がある。また、硬式野球(公式戦)が実施できる球場建設の要望書が平成15年4月に提出され、平成29年6月には新球場早期建設実現への要望書も提出されている。
事業の評価と改善(R4→R5)	不具合箇所の改善と安全の確保について、優先順位と投資効果を検討し、施設の長寿命化に効果のある対策を行う。また、事業費や規模の適正化を図る。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	フェンス改修及び防球ネット設置工事				/
	事業費	20,000			20,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	15,000		0	15,000
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	5,000	0	0	5,000	

事業整理シート

事業名	御殿場市馬術・スポーツセンター施設改修事業	整理番号	4403-060			
所管	産業スポーツ部 スポーツ交流課	予算款項目	一般会計	2	10	1

●事業の種類と位置付け

事業期間		～		根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	施策番号:	4-4-3	施策名:	スポーツ関連施設の適切な整備と運営	
	関連施策:		施策名:		
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標3	すべての人に健康と福祉を			
	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう			
国土強靱化計画における位置付け					

●事業の内容

目的	施設の老朽化が進んでおり、安全な施設の利用に供するための改修事業を行っていく。
対象	市民、利用者
手段	施設改修を計画的に実施していく。
令和4年度末までの事業実施状況	平成20年から馬術競技のNTC(ナショナルトレーニングセンター)競技別強化拠点施設に指定されている。令和元年にはパラ馬術においてもNTCの指定を受け、2020東京パラリンピックの事前合宿地にも選定されたことから、令和2年度にユニバーサルトイレを整備した。
事業の背景・住民意見の反映	毎年馬術競技の全国大会や様々なイベントが開催され、多くの市民・関係者が来場している。馬術競技のNTC施設として国内の位置づけは高く、ジュニア層においても全日本高等学校馬術競技大会が皇族方のご来臨をいただいて舉行される等、育成拠点としても活用されている。2020東京パラリンピック馬術競技の事前合宿地に選定され、ユニバーサルトイレも整備した。今後、老朽化している馬場及び施設の整備が求められている。
事業の評価と改善(R4→R5)	風水害により競技場が使用不能となる馬場の損傷に対し、緊急の対応を行った。施設の老朽化に対しては、事業費や事業内容の適正化を図り、今後の改修について財源確保の手法を検討した。



●事業計画 (単位:千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	競技場馬場改修修繕				/
	屋内馬場路盤改良				
事業費		30,000			30,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	6,700			6,700
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他	21,000			21,000
一般	2,300	0	0	2,300	

事業整理シート

事業名	南運動場施設改修事業	整理番号	4403-070			
所管	産業スポーツ部 スポーツ交流課	予算款項目	一般会計	2	10	1

●事業の種類と位置付け

事業期間		～		根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	施策番号:	4-4-3	施策名:	スポーツ関連施設の適切な整備と運営	
	関連施策:		施策名:		
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標3	すべての人に健康と福祉を			
	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう			
国土強靱化計画における位置付け					

●事業の内容

目的	安全で良好な施設の利用に供するため、計画的に改修事業を行い、競技環境の向上を図る。
対象	市民、利用者
手段	設置からおよそ50年余が経過しており、不具合が生じている設備、建物等を順次改修整備し、競技環境の向上を図る。
令和4年度末までの事業実施状況	令和元年度にグラウンドの土壌改良、駐車場整備を行い、一部競技環境の向上が図られたが、建物等の整備が未着手である。
事業の背景・住民意見の反映	グラウンド及び駐車施設は整備ができたが、既存の建物の老朽化等対応の要望がある。
事業の評価と改善(R4→R5)	不具合の改修と安全の確保について、優先順位と投資効果を検討し、施設の安心安全面に効果のある対策を行う。



●事業計画（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	バックネット裏建物整備				/
	事業費	30,000			30,000
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	22,500		0	22,500
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	7,500	0	0	7,500	

事業整理シート

事業名	富士山巡礼路須山口・御殿場口登山道調査研究事業	整理番号	4501-010			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等	文化財保護法、御殿場市文化財保護に関する条例
基本計画における位置付け	施策番号:	4-5-1	施策名:	歴史と文化の調査・研究と支援	
	関連施策:	4-5-2	施策名:	文化財等の公開・展示と活用	
個別計画での位置付け					
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに			
	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	h-3	貴重な文化財の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・喪失			

●事業の内容

目的	ユネスコ世界遺産委員会の勧告を受けて実施するものであり、かつての巡礼路の位置や経路を特定し、現代の来訪者が往時の巡礼路を辿り世界文化遺産富士山の構成資産間の関連性を理解できるようにするとともに、調査を通して御殿場と世界文化遺産富士山の深いつながりをあきらかにする。
対象	市民
手段	県富士山世界遺産センター・裾野市・当市の三者が毎年度協定を結び、令和3年度から4年計画で共同調査を実施する。県富士山世界遺産センターが事務局となり調査委員会を組織し、市担当課は、事務局とともに調査委員が行う調査に対して情報提供や各種調整、調査支援等を行う。
令和4年度末までの事業実施状況	令和3年度から事業に着手し、令和4年度は市内の仏像や新橋浅間神社境内の玉垣調査、御殿場口新五合目周辺における旧登山道の痕跡を探る踏査、山小屋関係者等への聞き取り調査を実施した。富士山に関わる学術調査であることから、事業費の一部について富士山基金からの充当を受けた。
事業の背景・住民意見の反映	ユネスコ世界遺産委員会からの勧告を受け、県と登山道を持つそれぞれの市町が共同で調査を実施しており、須山口・御殿場口が静岡県側最後の調査となる。構成資産からは外れてしまった御殿場口登山道の歴史が学術的に調査研究されることは、郷土愛の醸成のみならず、現在の御殿場口登山道の振興にもつながる。
事業の評価と改善 (R4→R5)	関係各署の理解と協力のもと、御殿場口新五合目周辺の東富士演習場内など山中の現地調査が進展した。コロナ禍による会合や聞き取り調査の制限も無くなったので、令和5年度は夏山シーズンに限定される山小屋やブルドーザーの稼働状況の調査を進める。

●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	調査委員会の開催 補足調査 報告書執筆編集 報告書刊行		調査成果の公開・活用 ・企画展示 ・世界遺産パンフレット改訂		/
	事業費	600	500		1,100
財 源 内 訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	0	0	0	0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他	505	500		1,005
一般	95	0	0	95	

事業整理シート

事業名	(仮称)御殿伝承地歴史広場整備事業	整理番号	4501-020			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2024年度 (令和6年度)	～	2026年度 (令和8年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	4-5-1	施策名:	歴史と文化の調査・研究と支援
	関連施策:	4-5-2	施策名:	文化財等の公開・展示と活用
個別計画での位置付け				
SDGsでの位置付け	目標4	質の高い教育をみんなに		
	目標11	住み続けられるまちづくりを		
国土強靱化計画における位置付け	h-3	貴重な文化財の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・喪失		



●事業の内容

目的	江戸時代に徳川家康の御殿が造営されたと伝承され、本市の地名の由来となった御殿伝承地について後世へ繋ぎ、幅広い年代の市民が歴史を学ぶと共に憩いの場として整備する。
対象	市民
手段	御殿伝承地とされる御殿場地区コミュニティ供用施設周辺エリアにおいて、御殿場財産区が所有する旧勝田邸部分を中心とする約3,400㎡の土地を活用し、広場として整備する。
令和4年度末までの事業実施状況	御殿場市史ではこのエリアを徳川家御殿跡として推定している。御殿場区の要望を受け、旧勝田邸部分について令和3年度から2ヶ年で試掘調査を実施したが、江戸時代の御殿跡と特定できるものは発見されなかった。
事業の背景・住民意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に地元御殿場区から、御殿伝承地における試掘調査の実施と史跡公園としての整備について要望されている。 令和6年度に市民ワークショップを開催し、地元住民や高校生など幅広い年代の意見を伺い、基本構想に反映させる。
事業の評価と改善 (R4→R5)	2ヶ年の試掘調査では御殿の痕跡は発見されなかったが、御厨地方の村々に残る古文書や絵図には、小田原藩領の時代にこのエリアに御殿の存在したことが記録されている。御殿とともに成立した御殿場村は現在の当市の発展の原点であり、市制施行70年を控え、郷土の歴史を市民により深く知ってもらい、郷土愛を育む場を目に見える形で整備することが必要である。



●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容	基本構想策定 測量調査 造成設計		造成設計 実施設計	広場整備工事 歴史サイン等設置委託等	/
	事業費	7,500	17,500	125,000	150,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	7,500	17,500	125,000	150,000
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	0	0	0	0	

事業整理シート

事業名	国際交流派遣受入事業	整理番号	4602-010			
所管	環境市民部 市民協働課	予算款項目	一般会計	2	1	16

●事業の種類と位置付け

事業期間	～				根拠法令・要綱等		
基本計画における位置付け	施策番号:	4-6-2	施策名:	国際姉妹都市及び諸外国との交流の推進			
	関連施策:		施策名:				
個別計画での位置付け							
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを					
	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう					
国土強靱化計画における位置付け							

●事業の内容

目的	国際姉妹都市や友好交流都市の両市民の交流を深め、市民の国際理解の促進と国際感覚を高める。
対象	市民、御殿場市国際交流協会
手段	米国チェンバースバーグ市及びビーバートン市と訪問団の派遣・受入事業を行う(5年ごとの相互訪問)。青少年を海外へ派遣する教育交流事業を実施する。
令和4年度末までの事業実施状況	令和元年度まで姉妹都市交流・青少年海外教育交流を継続し、市民や青少年の国際理解が促進されたが、コロナ禍により令和4年度まで事業中止・延期が続いている。友好交流都市の韓国論山市との学生の派遣、受入事業は、外交関係の悪化により現在中止となっている。
事業の背景・住民意見の反映	姉妹都市とは5年ごとの相互訪問交流が定着している。青少年の海外派遣交流については、参加を希望する声は多く、参加者からも他に代え難い体験ができたとの感想を得ている。
事業の評価と改善(R4→R5)	チェンバースバーグ市との姉妹都市交流60周年記念事業は、令和2年度よりコロナ禍で実施を見合わせていたが、双方協議の上、令和7年度に訪問団受入事業を実施予定。令和4年度ビーバートン市姉妹都市提携35周年記念事業は令和5年度に延期し実施予定。姉妹都市交流の在り方について今後は交流内容、継続方法の検討が必要である。

●事業計画 (単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
事業内容		・青少年海外教育交流推進事業 ・諸外国との交流	・姉妹都市提携65周年記念 チェンバースバーグ市訪問団 受入事業 ・青少年海外教育交流推進事業 ・諸外国との交流	・青少年海外教育交流推進事業 ・諸外国との交流	/
	事業費	4,000	8,000	4,000	16,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	1,250	1,250	1,250	3,750
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他		700		700	
一般	2,750	6,050	2,750	11,550	